

桜井中学校1年生だより

『いっしん』～一進、一心、一新、一身、一振～

令和6年3月19日

いっしん ～ 一つずつ進み、前へ ～

どこにでもいて、よく目にする蟻。ところが、その生体については、未だに多くの謎があります。その中でも、研究者の中でずっと疑問視されてきたのが、「全く働かない蟻」の存在です。働き蟻は有名です。ただ、裏を返せば、どの集団にも必ず2、3割程度「全く働かない蟻」が存在しているのです。仕事効率の下がる「全く働かない蟻」が、自然界の中で淘汰されない理由が解明されず、謎は深まるばかりでした。なお、働き蟻だけの集団を形成すると、その中の2、3割は「全く働かない蟻」に変化していくことが実験により確認されています。つまり、蟻は、どうあっても全員で協力して働くことを拒むのです。なぜでしょうか。

その理由を解明するため、数年前に北海道大学を中心とした研究チームが実験を行いました。一匹ずつ違った色を付けた蟻を用いて8つのコロニーを作り、個体認識をした上で1ヶ月以上観察したのです。その結果、最初はよく働いていた蟻が疲れて動かなくなると、代わりに「全く働かない蟻」が動き始めることが確認されました。

さらに、そのデータを用いたコンピューターシミュレーションにより、**すべて働き蟻であるコロニーを想定して**みました。すると、そのコロニーは、**一斉に力尽き、滅びてしまう**ことも確認されました。

「全く働かない蟻」の常駐は、一見して非効率的です。しかし、そのシステムはコロニーの存続に欠かせない仕組みだったのです。人間の組織でも、短期的な効率や成果を求めると悪影響が出る場合があります。長期的な視点で運営することの大切さを示唆する結果と言えるのではないのでしょうか。

学校生活にも、勉強、運動、行事、清掃、係など、様々な分野の生活要素が存在します。それぞれに得意、不得意があり、すべての場面で最高のパフォーマンスを披露することは難しいでしょう。しかし、その中でも自分にできることを見極め、精一杯取り組むことが大切だと思います。

学年目標「いっしん」には、何事にも臆せず挑戦を繰り返し、その中で育まれる個々の自信、集団としての一体感を大切にしながら少しずつ成長して行ってほしいという願いが込められています。つまり、自身の命は、人と人との支え合い中でこそ輝くという本質を忘れてほしくはないのです。この一年、他者理解と支え合いの心を基盤として、自浄作用を保有した集団作りにこだわってきました。2年生では、仲間を大切にしつつ、さらに成長した姿を見せてくれることでしょう。なぜなら、1年生生徒の中に、怠け者は一人もいないからです。みんな、できることを精一杯がんばっています。疲れたら休みながら、一つずつ進んでいけばいいでしょう。そうすれば、恒久的な成長を促す集団が形成されていき、その中で、いつかになりたい自分になっていけるのですから。

保護者の皆様におかれましては、一年間、1年生の教育活動をあたたかく見守っていただき、ありがとうございました。お子さんの成長に関わらせていただけたことは、私たち職員にとって幸せなことでした。来年度も、引き続き学年へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



4月予定

4月8日(火) 入学式準備について

- ・登校 8:30～8:40 ・下校 10:45～11:00
- ・ジャージ登校です。
- ・持ち物…スリッパ、体育館シューズ
必要な人は軍手

4月9日(水) 入学式・始業式について

- ・登校 8:20～8:35 ・下校 11:30～11:45
- ・制服登校です。
- ・持ち物…筆記用具、雑巾2枚、スリッパ
ゴミ袋(ピンク色、黄色の袋)各1枚
※教科書を持って帰るので、大きいリュックを持ってきましょう。

※春休みの宿題は**健康と安全**に気を付けて生活することです。